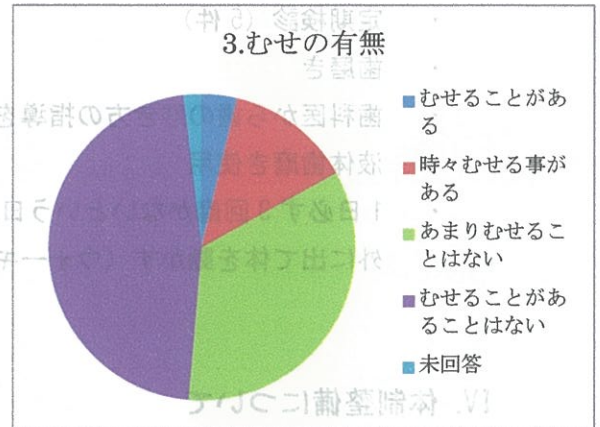


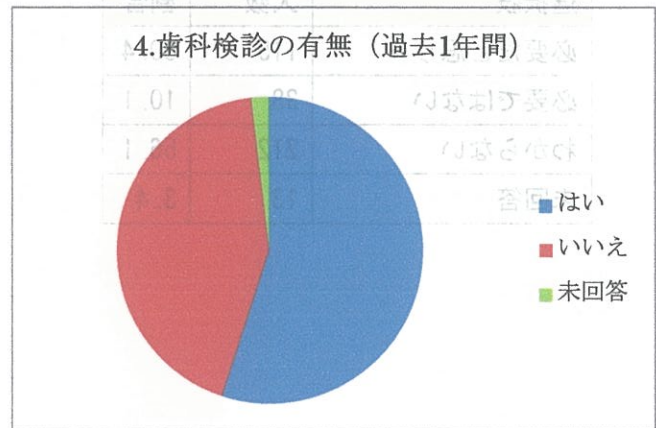
3. 食事の際、むせることはありますか。(〇は1つ)

選択肢	人数	割合
むせることがある	14	3.7
時々むせる事がある	50	13.2
あまりむせることはない	130	34.4
むせることがあることはない	177	46.8
未回答	7	1.9



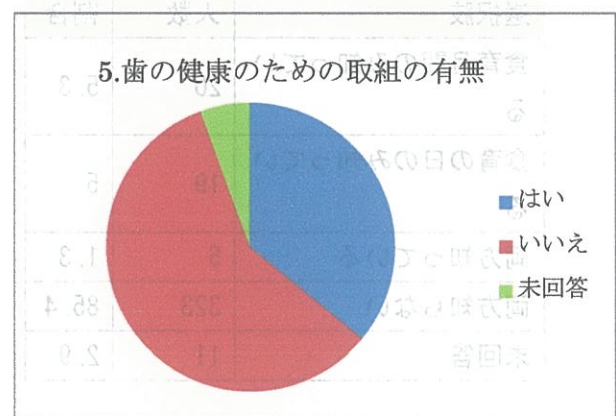
4. 過去1年間に歯科検診を受けたことがありますか。

選択肢	人数	割合
はい	208	55
いいえ	163	43.1
未回答	7	1.9



5. 歯の健康のために取り組んでいることがありますか。

選択肢	人数	割合
はい	136	36
いいえ	221	58.5
未回答	21	5.6



1. 5 ではいと答えた方にお聞きします。どのようなことに取り組んでいますか。

- ・ 定期検診 (5 件)
- ・ 歯磨き
- ・ 歯科医から歯の磨き方の指導を受けたのでそれを実践している
- ・ 液体歯磨き使用
- ・ 1 日必ず 3 回磨かないという日が無いようにしている
- ・ 外に出て体を動かす (ウォーキング・農作業)

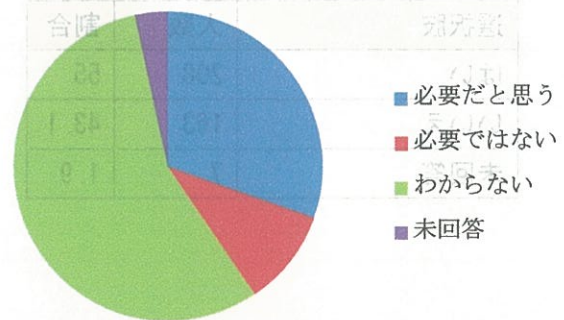
回答	人数	割合
歯磨き	41	7.8
液体歯磨き使用	08	1.6
1日必ず3回磨かないという日が無いようにしている	77	14.9
外に出て体を動かす (ウォーキング・農作業)	7	1.3
未回答	7	1.3

IV. 体制整備について

1. 食育を含む健康づくりを推進していくにあたり、各地区 (または町全体) に健康づくり推進員等のような方が必要だと思いますか。(〇は1つ)

選択肢	人数	割合
必要だと思う	115	30.4
必要ではない	38	10.1
わからない	212	56.1
未回答	13	3.4

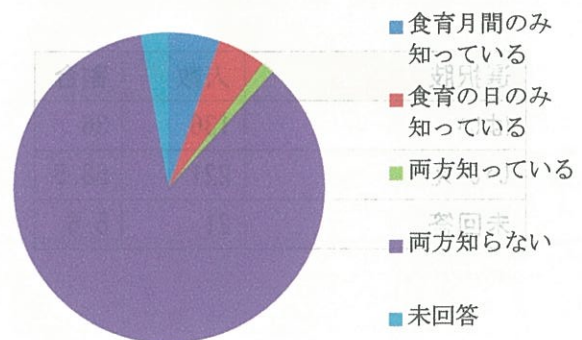
1.健康づくり推進員等の必要性



2. 6 月が食育月間、毎月 19 日が食育の日が設定されていますが、知っていましたか。(〇は1つ)

選択肢	人数	割合
食育月間のみ知っている	20	5.3
食育の日のみ知っている	19	5
両方知っている	5	1.3
両方知らない	323	85.4
未回答	11	2.9

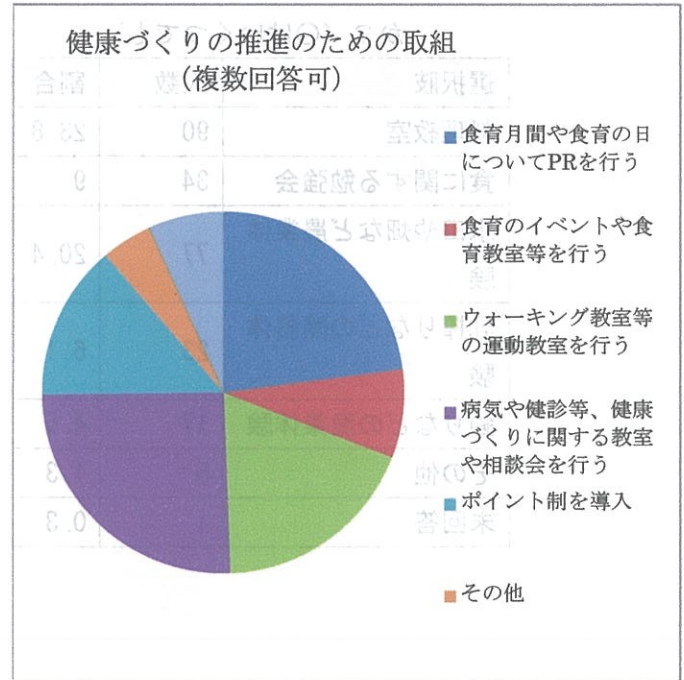
2.食育月間、食育の日を知っている



3. 町民の食育や健康づくりはどのようなことを行えば推進されると思いますか。(〇

はいいくつでも)

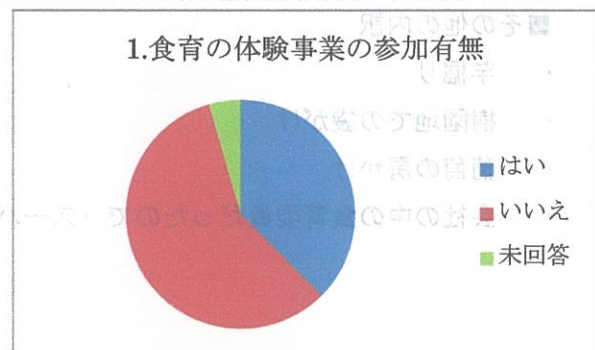
選択肢	人数	割合
食育月間や食育の日についてPRを行う	122	24.4
食育のイベントや食育教室等を行う	42	8.4
ウォーキング教室等の運動教室を行う	99	19.8
病気や健診等、健康づくりに関する教室や相談会を行う	102	27
ポイント制を導入	74	14.8
その他	24	4.8
未回答	36	7.2



V. 食育に関する体験事業についてお聞きします。

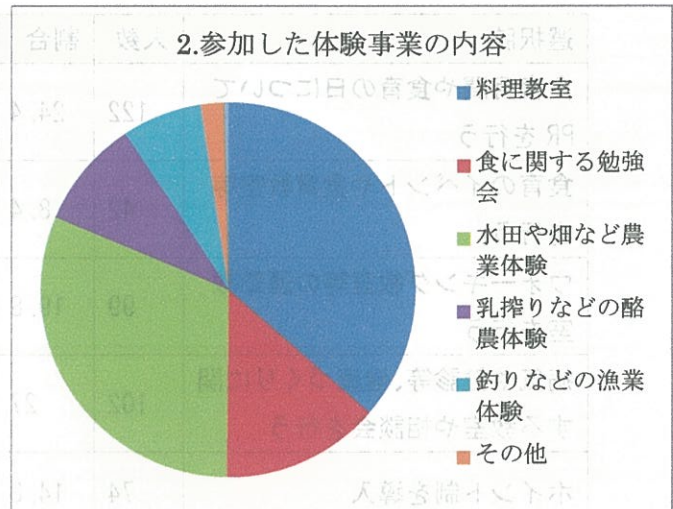
1. これまでにあなた又はあなたの家族の中で料理教室等の食育に関する体験事業に参加したことがある方はいますか。子ども達の学校や園での体験も含まます。

選択肢	人数	割合
はい	142	37.6
いいえ	219	57.9
未回答	17	4.5



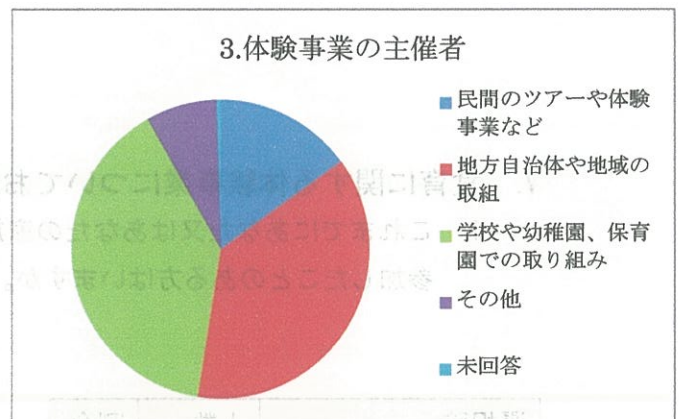
2. 問1であると回答した方にお尋ねします。どのような体験事業に参加されましたか？（〇はいくつでも）

選択肢	人数	割合
料理教室	90	23.8
食に関する勉強会	34	9
水田や畑など農業体験	77	20.4
乳搾りなどの酪農体験	23	6.1
釣りなどの漁業体験	17	4.5
その他	5	1.3
未回答	1	0.3



3. 問1であると回答した方にお尋ねします。どこが主催の体験事業に参加されましたか。（〇はいくつでも）

選択肢	人数	割合
民間のツアーや体験事業など	31	15
地方自治体や地域の取組	78	37.5
学校や幼稚園、保育園での取り組み	82	39.4
その他	16	7.7
未回答	1	0.5



■その他の内訳

- ・ 芋掘り
- ・ 樹園地での袋がけ
- ・ 葡萄の房かけ
- ・ 会社の中の食育委員だったので（スーパー）

4. 今後どのような体験事業に参加されたいですか。

- ・ 料理教室(16件)【いつも土曜実施で参加できないという意見もあり】
- ・ 孫の料理教室
- ・ 親子で参加できる料理体験
- ・ 親子減塩教室
- ・ 子どもと参加できるような料理教室
- ・ 男性の為の料理教室事業
- ・ 料理が好きになる料理教室
- ・ 手軽に作れる料理教室
- ・ お菓子作りなどの料理教室
- ・ インパクトのあるPR
- ・ 興味のある内容の料理教室
- ・ 誰でも参加することが出来る教室 (お菓子作り・野菜中心の料理)
- ・ ローカロリーの お菓子作り
- ・ お菓子作り
- ・ パン作りなど
- ・ ほうとう作り
- ・ 農業体験 (田植え・稲刈りを含む) (9件)
- ・ 親子で参加できる収穫体験
- ・ 野菜作り
- ・ 野菜の収穫
- ・ 酪農や漁業は体験することが無いので有料でも体験してみたい・農業は食育体験しつつ、利益や満足感につながるよう、自分たちで食したり、定期的なイベント性をもたせて朝市などしてみたら・・・
- ・ 松茸採り・ぶどう狩り・栗拾い
- ・ 野菜などの収穫体験など できれば子育て支援センターや関連事業などで企画をたてていただければうれしいです 未就園児でも参加できるようなものがうれしいです
- ・ 漁業体験
- ・ 釣りなどの漁業体験などしてみたい
- ・ 漁業体験など体を使った体験
- ・ 釣りの体験を子どもと一緒にしたい
- ・ 釣り、魚の掴み取りなど
- ・ 食べ物(食材)がどのように作られるか、料理をする以前の知識が大切と思う・自給率の低いこの国で無駄をなくすためにも、グリセのやきなどの体験学習はどうでしょう? 休耕地を利用して、町営農業なども含む
- ・ 楽しい体験事業で役に立つ事・他の県ではやらないことをしたい(山梨の地元しかで

きないこと)

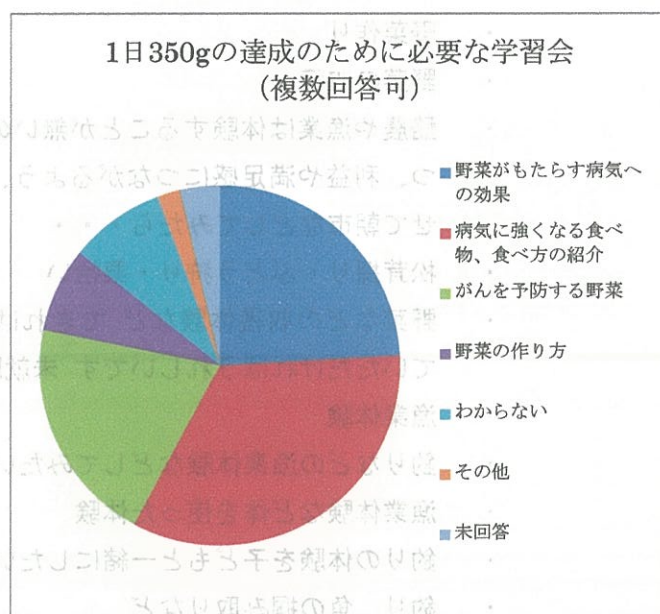
- ・ 誰でも参加できる体験（年齢不可）
- ・ 牧場での酪農体験や漁場での釣り体験市場でのせり体験、山と川と海のつながりを感じる環境保護体験、油やジュースの工場見学、醤油やみそ蔵見学ですがあまり小さい子がいる所は受け入れてもらえないのでなかなか参加できずにいます。幼いうちからの体験を大事にしたいと思うのですが
- ・ ウォーキングなど体を動かすイベント
- ・ 健康維持について食事や運動
- ・ ヨガ（3件）
- ・ ストレッチ・体操・ピラティスなど 体の調子を整える教室（最初は体験なので無料）
- ・ 年代よっての悩みに対応した食の勉強・カラダに良い栄養と調理法
- ・ 食品添加物についての勉強
- ・ 食に関する勉強会
- ・ 出汁のとり方や食材の安全などの勉強会
- ・ 事前に知ることができれば参加してみたいです

5. 県健康増進計画「健やか山梨 21（第2次）」では、野菜摂取量の目標量を1日 350gとしています。目標を達成するために、どのような学習会を行えばよいと思いますか。（〇はいくつでも）

選択肢	人数	割合
野菜がもたらす病気への効果	159	24.1
病気に強くなる食べ物、食べ方の紹介	223	33.7
がんを予防する野菜	135	20.4
野菜の作り方	50	7.6
わからない	57	8.6
その他	13	2
未回答	24	3.6

■その他の内訳

- ・ 茹でずに簡単に摂取できるか
- ・ 野菜のおいしい料理の仕方
- ・ 野菜を効果的にとる作り方の紹介
- ・ 1日 350gは大変だと思うので他のもので補う
- ・ 忙しい人でも手軽に野菜を摂取する方法の紹介
- ・ 1日 350gの量はどのくらいか分かりやすい目安の紹介があると良い



- ・ 大量消費・保存法
- ・ 野菜を使った料理レシピの紹介
- ・ それにともなって害獣がでてこない害獣被害対策の充実
- 6. その他、食育や健康づくりに関してご意見、ご提案などありましたら、お書きください。
- ・ 地域の野菜などを販売する場所
- ・ 農作物の生産・販売が以前あったが再開できないか？（1ヶ月に2回位の日曜・日朝）
- ・ 毎週日曜とか曜日を決めて、無人でも良いので地域の旬野菜を売る（駅前とかで人目
- ・ 町でもっと積極的に野菜作り販売をやって欲しい・店が少ないので年寄りが利用できる店が欲しい
- ・ 若年層に家の畑で作れる野菜の作り方・手入れの仕方を細かく教えて、食べ物の大切さやものづくりの楽しさをつないで欲しい
- ・ 朝市などをして、野菜の販売をする（野菜は全て食育事業でつくってみては。週一・月一などのイベントとして）生搾りジュース・スムージーの販売など。野菜チップスなども良いかと）
- ・ 道の駅や無人販売のように安心安全な野菜が低価格で買える機関があると嬉しい
- ・ 町内で作っている野菜等、町内で売っていただけないか
- ・ 地元で作った野菜を求めやすく販売して欲しい
- ・ 町の中で人が出入りするところに（いきいきやきずな・役場など）旬の野菜は何かの宣伝。
- ・ 入り口などに野菜を飾るなど。イベントのお知らせをもっと広める。知らない人が多い。
- ・ 町でもっと積極的に野菜作り販売をやって欲しい・店が少ないので年寄りが利用できる店が欲しい。
- ・ シルバー人材を利用した農産物の生産・販売などを若者に参加していただき楽しさ、おいしさを知ってもらう
- ・ シルバー人材を利用した農産物の生産・販売がよいと思います
- ・ 親子参加で農作業のお手伝いをしてはいかがでしょうか
- ・ 朝市などをして、野菜の販売をする（野菜は全て食育事業でつくってみては。週一・月一などのイベントとして）生搾りジュース・スムージーの販売など。野菜チップスなども良いかと）
- ・ 生産者同志の無料交換会 高齢者への農作物の無料配布
- ・ 野菜の作り方（家庭菜園）の指導をお願いしたいと思います。

- ・ 野菜の苗の作り方とか時期
- ・ 若い方の畑ばなれ、野菜嫌いが心配されます「取れたてのキュウリはトゲトゲなど生の体験をとおして畑や虫や野菜をもっとつながりあうことのできる人を育てていけたらと思います。オーガニック野菜などにはセレブや有の方々による憧れなどが育ちつつあるように感じるので調味料や酵母や油はもとより野菜や果物にとって無農薬のよさ、それを持続するための苦勞、なぜ農薬がこわいのかといった基本的な考えと野菜から体をつくることの大切さを学ぶ機会があるとよいと思います。よろしくお願ひします。
- ・ いくら野菜が体に良いと言われても高いと買えません。野菜は気候によって大分変わります。ハウス栽培とかしてシルバーも子供も一緒に作ってそれを売るなどしたらいいかなあ-と思います。
- ・ 学習農園などで収穫した野菜を利用し男性でも出来る料理教室を実施老齢者には質問が多すぎると思います。
- ・ 西桂全体で特産品を栽培し、町民自ら食し町外に拡散させて行き食育して行く。地産地消を活発的に行ってほしい。(道の駅を作ることや空地を利用し農園にするなど)
- ・ 料理教室(お弁当作り)
- ・ 町で料理教室を開いてほしい
- ・ 親子の料理教室・ママ達にむけての幼児食教室・ちょっとオシャレな料理教室(イケメンシェフを呼んで)
- ・ 調理方法や試食会等あれば楽しいかな
- ・ 小中学校での給食試食会などに参加する機会
- ・ 病気に強くなる食材・調理方法をしりたい。
- ・ 保育所や小学校で行われている食育事業の継続
- ・ 保育園・学校給食において安心安全な食品を使うことを徹底して欲しい。
- ・ 国産・添加物不使用など
- ・ 今の時代、食がありふれていると思う。コンビニにも多く、手軽にし好品が手に入られる。自分の意思とは逆に楽しんで食べ物を食べてしまう。家庭での食事を大切にするようにしたいです。
- ・ ダイエット教室があれば楽しそう
- ・ 食育アドバイザーをもっと増やす。
- ・ 何事も中央へ招集して実施するばかりではなく、各地区には立派な公民館があるので活用した方がよい。積極的に訪問活動をした方がよい。
- ・ 老人を対象にした集會に10~15分でも参加して説明する・健康際等町の行事に10~15分でも参加して説明する

2. 計画策定委員会

(1) 策定委員会要綱

西桂町食育推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 食育基本法(平成17年法律第63号)に基づき、西桂町食育推進計画を策定することを目的とし、西桂町食育推進計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項について庁内関係各課職員で構成される「西桂町食育推進計画策定作業部会」が検討した内容を審議する。

- (1) 西桂町食育推進計画(以下「計画」という。)の策定に関すること。
- (2) その他、計画の策定に関し必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 策定委員会の委員の数は20名以内とし、別表に掲げる者をもって組織する。

2 委員の任期は、計画の策定が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 策定委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、委員の中から互選する。

2 委員長は、会務を統理し、策定討委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 策定委員会の会議は、委員長が召集し、委員長が議長となる。

2 策定委員会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことはできない。

3 策定委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 策定委員会は、その任務を遂行するために必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めて意見又は説明を聞くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(事務)

第6条 策定委員会の事務は、福祉保健課において処理する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が策定委員会に諮って決めるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 29年 5月30日から施行する。

(要綱の失効)

2 この要綱は、平成 30年 3月 31日限りで効力を失う。

(2) 計画策定委員会委員

No	役職	所 属	氏 名	備考
1	委員長	食生活改善推進員会長	杉田 玲子	
2	副委員長	西桂町民生児童委員協議会長	郷田 盛直	
3	委員	富士・東部保健福祉事務所 健康支援課長	飯島 俊美	
4	委員	主任児童委員	川村 千恵子	
5	委員	商工会長	鶴田 長秀	
6	委員	農業関係者代表	佐藤 工	
7	委員	寿クラブ連合会長	渡辺 正一	
8	委員	西桂町生活改善グループ 総会長	田邊 きみ江	
9	委員	倉見代表	志村 義男	
10	委員	柿園代表	梶原 健造	
11	委員	本町代表	滝口 恵造	
12	委員	上町代表	高尾 保夫	
13	委員	下暮地代表	瀧口 幸男	
14	委員	小学校 PTA 会長	天野 健一	
15	委員	中学校 PTA 会長	小林 仁	
16	委員	保育所保護者会長	武藤 勲	

3. 西桂町食育推進計画策定作業部会

(1) 作業部会構成員

No	所属	職名	氏名	備考
1	福祉保健課	課長	永田 由永	
2	福祉保健課	主事	高尾 留実	
3	福祉保健課	保健師	小林 扶津紀	
4	福祉保健課	保健師	高頭 泰子	
5	福祉保健課	保健師	加藤 千恵美	
6	保育所	所長	渡辺 麗子	
7	保育所	主任保育士	川村 三千代	
8	保育所	栄養士	安留 光代	
9	小中学校	栄養教諭	三浦 千明	
10	小学校	養護教諭	鶴田 唯	
11	中学校	養護教諭	小澤 すず香	
12	産業振興課	課長補佐	川村 吉広	農政担当
13	税務住民課	係長	山下 竜也	国保担当
14	教育委員会	子どもコンシェルジュ	加藤 なお美	
15	富士・東部保健福祉事務所	管理栄養士	渡邊 瑞穂	オブザーバー